



名前 _____

塾報受取日 _____ 月 _____ 日

3月の予定

2月28日 3月度授業料引落日
(3月8日 引き落とし予備日)
3月2日(土) 暗算検定(授業なし)
3月10日(日) 西日本大会
3月16日(土) i-test本試験
ユース大会申込締切
3月20日(水・祝) 近畿大会決勝
3月25日(月)～3月30日(土)

そろばん春休み

お知らせ

韓国のテレビ局への出演のため、4月1日と2日が臨時休講になる可能性があります。今のところ、出演そのものや日程が折衝段階ですので、確定ではありません。収録が予定通りの日程になりましたらこの2日間はお休みとなりますが、4～5月にかけて振り替え授業を行います。決定いたしましたら授業中に連絡をします。教室ホームページにも連絡文を載せます。

特別練習の予定と対象者

3月2・9日 5時～7時

- アドバンスト・チーム (A-team)
- 西日本大会出場者
- 3月i-test受験予定者

- 近畿決勝大会出場者
- ユース大会出場予定者
3月16日 5時～7時
- アドバンスト・チーム (A-team)
- 近畿決勝大会出場者
- ユース大会出場予定者
3月23日 5時～7時
- アドバンスト・チーム (A-team)
- ユース大会出場予定者

3月2日暗算検定について

全級とも8時30分開始です。

所要時間は約25分です。試験日の都合が悪い場合は、2月28日・3月1日の授業中に実施しますので申し出て下さい。

試験日(2日)の通常授業は休講となりますのでご注意ください。毎回、何名か間違えて来ています。

☆3月10日西日本大会☆

集合…星田駅8時25分

帰り…星田駅18時頃

会場…大阪商業大学(近鉄河内小阪)

昼食の準備をしておいてください。電車賃は中学生で往復1000円以内です。

現地集合・現地解散もできます。

☆3月20日近畿大会について☆

集合時間などの詳細は追って連絡します。会場は大阪商工会議所、昼食を持ってきて下さい。会場に早めに着いて昼食を済ませます。見学ができるか

どうかは未定です。電車賃は支給されますので不要です。

3月i-testについて

3月i-testは3月16日の午前10時30分から実施します。16日に受験を希望する皆さんは14日までに申込を済ませておいてください。春休みがある関係で、3月のi-testは16日を最終実施日としますが、どうしても都合がつかない場合は相談してください。

☆全日本ユース珠算選手権大会☆

2013年度の表記大会が4月21日に滋賀県草津市・立命館大学で開催されます。西日本大会出場者や現在ユース大会の練習を行っている生徒の皆さんは出場資格があります。申込締切は3月16日、参加料は2500円です。なお、大会の見学は誰でもできます。

近畿大会大阪府予選結果

1月27日に行われた表記大会で、代表選手全24名の内、当教室から9名が選ばれました。

当教室の大阪代表選手

◇中学生の部◇

永井功久（交野4中・2年）

桑原麻衣（生駒上中・2年）

安原章太（交野3中・1年）

◇小学6年生の部◇

金本三夢（生駒台小）

山口愛未（開成小）

◇小学5年生の部◇

金本大夢（生駒台小）

◇小学4年生以下の部◇

大内峻聖（私市小・2年）

金本愛夢（生駒台小・2年）

大内悠聖（私市小・4年）

2月10日実施1～3級検定

【1級合格】

楓まい 岡留彩花

山内優歩 山本紗利那

【2級合格】

仙田さくら 奥田南海 明浦日香

吉永灯 四宮彩花 小野澤怜花

湯浅彩乃 河原健太郎 木村理仁

中野楽

【3級合格】

森岡賢一（満点合格） 眞井夏希

村垣夏南 文沢駿介 中島萌唯

齋藤小春 中川優花 古橋晴香

熊田星麗

チャレンジと実用暗算技能養成

初歩教材PERFECTが終了し、速度・集中力・暗算力を養う「J1」練習を卒業すると、種目ごとに受験できる「i-test」で乗除練習が始まります。

まず 67×2 、 673×5 、 83×92 などのような問題でかけ算の基礎を覚え、i-testの「かけ算1」を計時します。60点で10級、80点で9級、100点で7級・・・と進み、180点で「かけ算2」に入ることができます。

「かけ算2」の導入では 123×456 のような問題の計算方法を覚えます。同時に、「わり算1」「かけ暗算1」の基礎練習が始まり、「かけ暗算1」を卒業すると「わり暗算1」の練習も始まります。

i-testを導入したことで、一人あたりにかかる対面指導時間は減少したかわりに、計時する時間が増えました。その結果、一日の練習が終わると、提出された答えは500枚ほどになります。

1か月ほど前までは、答案の点検のときに間違い直しをしなければならない問題に印をつけていましたが、ふと思いついて、比較的時間に余裕がある土曜日の特別練習の折に、間違えた問

題だけではなく、できていないところもすべて計算するように指示をしました。

i-testは全種目・全レベルとも、1枚の問題の中で段階的に難易度を上げています。配点はどの問題も同じですが、同じ5点でも1番と40番とでは価値が違います。険峻な山に登ることと似ているかもしれません。登りはじめの100メートルと、頂上間際のそれとではかなり違います。

制限時間で20題しかできない時点での35番や40番の問題は、生徒にとって「未知」で「困難」な問題ですが、あえてそんな問題にもチャレンジするように指示をしたのでした。

四苦八苦しなながらようやく仕上げた生徒でしたが、もう一度制限時間で計時すると明らかに変化が表れてきました。かなり無理をして課題に対峙したことが壁を突き破ることにつながって、「速度向上・正答率上昇」という両立が困難なテーマを克服するきっかけをつかんだのです。

そんなことがあってから、i-testの答案チェックでは、間違い直しの箇所を指定するだけでなく、「チャレンジ課題」として未解答の問題にも印を付けるようにしました。生徒にとっては大変な作業ですが、脳の中に計算するためのルートが存在するとすれば、チャレンジ問題の克服にはその道幅を拡げる作用があるのではないかと思っています。

さて、一つ大きなお知らせがあります。珠算式暗算能力を「算数・数学・理科・実用」にもっと利用できるよう

に、「実用暗算技能」を測定する種目をi-testに増やす計画があります。25年度中には実現できるように準備を進めていきますが、先日当教室のホームページに構想を書きましたので以下に転載します。珠算学習のメリットを大幅に拡大する可能性を秘めた種目になります。指導日・指導時間など、具体的な内容が決まりましたら塾報でお知らせ致します。

「検定合格」「技術向上」を目指す過程で計算力や集中力などを高めてきた珠算学習のメリットに、「実用暗算技能の習得」が加わります。

今年の初めからこの欄で紹介しておりますi-test。大阪珠算協会における5月からの本採用に向けて、昨年11月と今年の1月に数件の教室でテスト実施を行っています。

テスト実施とはいうものの、試験そのものは本試験と全く同様で、証書も実物を使い、成績は本採用後も有効です。「先行実施」というほうが正しいかもしれません。

現在、申込から試験実施、成績処理、証書発行などの手続き上の問題点の洗い出しと改善作業、実施に向けてのマニュアル作りを行っており、5月には万全の状態で臨めると思います。

i-testのかけ暗算やわり暗算は、 80000×500 や、 $200000 \div 50$ のような問題から始まります。最初から答の桁数を把握しなければならぬことから、星の郷教室では位取りの指導を根本的に変えました。かけ暗算・わり暗算では比較的早期

の段階から小数を含む問題が出題されることを見越してのことでもありました。

小学6年生の保護者から、「算数の単位換算で桁を全く間違わなくなりました」という報告を頂いたのがi-testの練習を始めて数ヶ月経った頃でした。「i-testのおかげだと思います」というお言葉もあり、ここまでピンポイントで珠算式暗算の効果を得たのは初めてでした。もっと大きな意味合いで「算数に役立った」という言葉は古くから珠算経験者の中ではなかば常識化していましたが、単元というくりではあまり聞いたことがありません。

概数的な問題や桁の把握が直接的に算数の特定の単元に活かされたのであるならば、算数のあらゆる単元や中学生の数学・理科の計算分野、さらには日常生活における計算すべてに珠算式暗算をストレートに結びつけることが可能だということになります。

今までも、珠算式暗算ができる人は、ほとんど無意識に暗算力を部分的・間接的であったとしても活用してきていますが、珠算式暗算を珠算塾内で練習する検定練習のみで活用するのではなく、もっとストレートにあらゆる場面で活用できるように系統立てて練習できるシステムの構築に向けて準備を始めました。

「太郎君の前には3人、後ろには5人並んでいます。みんなで何人並んでいますか」

「太郎君は前から3番目、後ろから5番目に並んでいます。みんなで何人並んでいますか」

「甲子園球場で並んでいます。私の前には15328人、後ろには20415人並んでいます。みんなで何人ですか」

「長方形の土地があります。一周は328メートルあります。縦の長さが62メートルだとすると横の長さは何メートルですか」
「半径5センチの円周はいくらですか。また面積はいくらですか」

「12と16の最小公倍数は？」

「一周が512メートルの池の周りに16メートル間隔で杭を打つとすると、杭は何本必要ですか」

「一冊125円のノート5冊と一本80円の鉛筆3本を買って1000円札を出すと、おつりはいくらですか」

「電熱線に20ボルトの電圧をかけて5アンペアの電流を5分間流すと、発熱量はいくらですか」

「ルート68は○ルート△である」

「2時45分に6時間目が始まりました。6時間目は50分授業です。授業終了後に15分間終わりの会がありました。その後、バス停まで5分歩いて10分バスを待ち、7分バスに乗って8分歩いて家につき、3分間で着替えてこたつに入って時計を見ました。さて、何時」

「ママ友6人がランチに行きました。7830円でした。割り勘すると一人分はいくらですか」

「国語80点、数学85点、英語90点、社会87点、理科を何点以上取れば平均点が85点以上になりますか」

たとえば以上のような問題を、すべて口頭で出題し、メモ書きは一切禁止にします。

珠算式暗算能力や想像力・記憶力・判断力などを総動員して行う「聞き取り暗算

テスト」。i-testの新科目として、25年度中に開始できればと思っています。

出席時間20時間以上の生徒

(2月20日までの1ヶ月)

桑原彩衣51 山内星徳50 桑原唯衣49
山口愛未48 金本三夢43 金本愛夢
41 金本大夢39 山内美空39 山内優
歩37 神山周35 森岡賢一33 奥田あ
さひ32 佃花音31 奥田南海30 楠戸
遥葵29 山根建太郎29 大土井穂賀28
齋藤小春28 田伐志帆28 西井颯一
朗28 福田陸人28 大土井楓賀27 今
泉優衣27 井上寛大27 竹下椋香27
木寺輝26 岡田亜瑠26 大野虹26 桑
原麻衣26 楓まい26 文沢一花26 文
沢駿介26 村垣夏南26 森遥香26 岡
留彩花25 大内悠聖25 大内峻聖25
越野直希25 久保田莉央25 梶原太智
25 塚本裕策25 中川優花25 中村如
月25 濱野恵太25 森岡優海25 眞井
夏希25 岩成海24 竹下柗希24 吉永
颯24 小野澤怜花23 池田優花23 四
宮彩花23 塚本旬23 湯浅彩乃23 木
寺匠22 金子直毅22 前田謙吾22 松
下菜々22 湊結子22 岩瀬菜々香21
国永紘資21 木村理仁21 西本朱里21
西村早貴21 北森遥弥20 北森彩月
20 住吉美咲20 古川和佳20 森田航
平20

猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ページ以上進んだ生徒)

金子直毅147 大野虹112 水越友香77
端野志76 竹下綾音68 楠田泰己66
森本爽月60 小野澤遼57 安達菜々
美54 中川ひより53 大土井穂賀43
佐伯理仁42 由比彩菜41 安原良真40
小林知世37 国永紘資36 河野優揮
28 原田小雪27 高山琴音26 田中歩
26 岡村和奈25 小石聡奈25 南龍介
23 畑蓮太郎20

※現在、PERFECTを練習しているほ

とんどの生徒がここに名前が出てきています。練習量、意欲ともに非常に良い雰囲気です。

フラッシュ暗算合格者

(2月20日までの1ヶ月間)

6段 山名翔太郎
3段 加茂和志
2段 吉見優里
初段 吉見優里 森岡賢一 桑原彩衣
1段 吉見優里 山内美空 石上綾音
2級 今泉優衣 村上小夏 中村如月
山根建太郎 兼松咲菜
3級 河田青大 三田村航季
渡部愛弓 住吉海飛 松下菜々
4級 住吉海飛 大土井楓賀 池田優花
5級 大土井楓賀 岩瀬菜々香
池崎佑磨
6級 大土井楓賀 池崎佑磨
岡田亜瑠 楠戸遥葵
7級 大土井楓賀 岡田亜瑠 楠戸遥葵
河野美紅 西井颯一朗 藤本大愛
加地世菜 出合祐喜
8級 大土井楓賀 岡田亜瑠 楠戸遥葵
河野美紅 藤本大愛 加地世菜
西本堅信 佐藤菜南子 小倉璃空
9級 大土井楓賀 楠戸遥葵 河野美紅
藤本大愛 佐藤菜南子 小倉璃空
入口寛都 加納温真 松田拓也
黒田朋花 藤本直也 佐藤実紗
10級 大土井楓賀 楠戸遥葵 藤本大愛
小倉璃空 加納温真 藤本直也
三浦鳩平 吉田翔瑛 久保田絢香
引波未来乃

教室HP「アラカルト」欄より

2月4日(月)「油断も隙もない」

昨日は、日本珠算連盟主催の珠算指導セミナーがありました。

会場に向かう電車の中での出来事です。空いていたので座ることができたのですが、次の駅で結構な人数が乗ってきて、私の左前方に、大きな黒いサングラスをかけた服装もおしゃれな女性が立ちました。パッと見ただけではお歳の想像がつかなかったのですが、頬のあたりを

見てみると70歳を越えていそうな感じ
です。

オシャレな出で立ちから想像すると、席
を譲られることに抵抗をお感じになるか
もしれない、という思いもあってしばら
く躊躇していたのですが、発車して1分
ほど経ってから、私はとりあえず席を立
ちました。直接譲るわけではないもの
の、意図は伝わるであろうというのを狙
ってのことです。

女性はすぐに私の意図を感じ取って下さ
り、軽く会釈をして席のほうに数歩進ん
だところで急停止。なんと、私が譲った
つもりの席に、高校生か大学生くらいの
男の子が何食わぬ顔をして座っている
のです。

「君が座ると違うねん」と私は漫才コ
ンビのツッコミ役のように、裏拳で反射
的に男性の肩をノックしていました。男
性はすぐに「あっ、すみません」と言っ
て席を立ちましたが、なぜに走り始めた
ばかりの電車の中で自分よりも遥かに年
上の人間から席を譲られるのか、彼には
想像する気がなかったのか想像する力が
なかったのか。

講習会の“まくら”に絶好の話題を提供
してくれたのでした。

.....

2月12日（火） システムの方程式

『文藝春秋』2月特大号に衆議院事務次
長・向大野氏の話を、藤吉雅春氏（ノン
フィクションライター）がまとめられた論
者が掲載されていて、非常に興味深く読
みました。

- 歴史には誰が統治してもうまくいく時
代と、誰が統治してもうまくいかない時
代があって、それらが交互に訪れる。
- システムには一種の方程式がある。時
代の要請にうまく適合して予想以上にそ
の目的を達するが、一定の段階に至ると
急速にその効果を失い、反対効果を生
む。

以上の2点について、徳川時代から現代
までの約400年間を3つの国家経営シス
テムに分けて分析しています。3つのシ
ステムとは、江戸時代の「石高制度」、明

治維新から第2次世界大戦までの「軍事
国家制度」、そして敗戦から現在に至る
「規制経済と福祉国家制度」で、時代を
牽引するこれらのシステムは当初は急
激に発展していくもののピークを迎え
るとそれまでのメリットそのものが急激
にデメリットに転じて逆にシステム自体
をつぶしてしまうと考えていらっしま
す。

一昨日は日本商工会議所主催の珠算能
力検定試験でした。昭和初期に始まった
検定試験は80年を超える歴史を持って
います。

試験開始から50年ほどの間、そろばんは
計算器具としての役割を社会から期待
されていました。検定は50年もの間、そ
ろばんそのものを使って計算できる「能
力」を計測する物差しの役目を担ってき
たのです。検定合格を目指して正確に四
則計算できる能力を身につけることで、
単利や複利、貨幣換算、減価償却などの
商業計算までもそろばんがカバーして
いました。

しかし、安価で手軽、かつ簡単な四則計
算ならば訓練を必要としない電卓の出
現により、計算器具としてのそろばんは
現実社会から姿を消し、検定は、珠算学
習の到達度を表す目安として、または珠
算学習の目標としての意義を持つよう
になりました。珠算学習そのものの目的
も、「そろばんを使っての計算方法の習
得」から、暗算力に代表されるスーパー
計算力の養成、算数に生かせる計算力の
獲得、珠算学習を通じて磨かれるさま
ざまな能力の伸長、右脳の活性化など
など、多方面にわたるようになり、現在
に至っています。

検定の意義が変化していく中、試験科
目、程度、計算方法、評価システム、施
行方法などなど、微に入り細にわたる検
討と変革が急務となっています。検定
は珠算学習者の大多数が経験する、数
値化しやすい制度としてのメリットが
ありますが、しかし、その役割の変化
に対応できないまま制度を維持しようと
するとデメリットになるかもしれない
おそれがあると、『文藝春秋』を見
て思うのでした。